

託されたおもいを受けとめて、全力でがんばります！ 被災地の救援・復興、エネルギー政策の転換、「福祉・防災のまちづくり」を！

「助けてください!」の声に応えて!

皆様のご支援で、日本共産党の3議席を確保できました。この激戦を勝ち抜いたのは、昼夜を分かたぬ献身的なみなさんのご奮闘のおかげです。



益田 牧子

選挙期間中、様々な出会いがあり、高齢者から、「助けてください」と言われたことが忘れられません。これからも、南熊本の「生活相談所」を拠点に、困っておられる皆さんの相談相手として、一人ひとりが人間らしく生きてゆける政治を目指します。

さっそく、6月には、一人1万円の「国保料引き上げ」の通知が来ます。減免制度の拡充、本格的な国保料の引き下げを求める運動に取り組みたいと思います。中学3年生までの医療費無料化や、防災対策を強め、耐震化を含め、「住宅リフォーム助成」で地元中小業者の仕事・雇用を増やすために力を尽くします。

来年4月の政令市移行など市政の課題は山積です。松岡徹県議と3人の市議団が力をあわせ、市民の皆さんとスクラムを組み、「いのち・暮らしを守る」政治に全力を尽くします。

東日本大震災「救援ボランティア」に登録し、被災地の支援にも出かける予定です。新緑の美しい季節となり、身体と心をリフレッシュし、がんばります。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

支えられ、育てられて、3期12年
引き続き、頑張ります！

我が家の小さな庭、気がつくと、木々はいつの間にか美しい若みどりに、地面には草が元気に生い茂って
上野 みえこ
いました。県議選に続く市議選、今は嵐の後のようです。



今回の選挙は、東日本大震災の中、被災地の方々に心を寄せながら、災害に強い熊本市の街づくり、いのちが大切にされる熊本市になることを願って、訴えてきました。たくさんの方々に激励をいただき、県議の1議席回復に続き、日本共産党市議団の3議席を守ることができました。

3期12年、たくさんの方々に支えられ、育てられ、議員活動を続けていくことができました。小さかった子どもたちも、24歳・22歳・18歳・15歳になりました。いよいよ4期目です。選挙戦を通じ、お寄せいただいたさまざまな思いや声をしっかり受け止め、議会に届けてまいります。いつもまわりで温かく見守っていただき

てきたみなさまへの感謝の気持ちをパワーにして、新たなステップ、議員活動を頑張っていきたいと思います。

どうぞ、よろしく願いいたします。

「暮らしのおもい」をしっかり受けとめ
4年間全力でがんばります！

厳しい2期目の戦いを勝ち抜くことができました。選挙で訴えてきた「福祉が充実し、災害に強いまちづくり」に向け、市民の皆さんと力を合わせ取り組んでいきたいと思ひます。



なすまどか

私が演説をしている時にも、「国民健康保険料を引き下げてほしい」「子育てへの負担がもう少し軽くなれば…」「夫の介護が大変で何とかならないでしょうか？」など、駆け寄ってこられ、多くの声が寄せられました。

こうした声に真摯に向き合い、解決することが求められます。

政令市を目指す熊本市。大切なことは、権限・財源が大きくなることではありません。大きくなった権限・財源が誰のために使われるのかということが重要だと考えます。

命と健康にかかわる高い国保の問題、高齢者や障害者の安心の暮らし、子どもを安心して育てることができる環境づくりなどなど、「暮らしのおもい」をしっかり受け止め、この4年間、全力でがんばる決意です。

日本共産党 市議会だより

NO. 750

2011年5月1日

電話 328-2656

FAX 359-5047

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

福島原発事故を受け、九州電力へ緊急申し入れを行いました 玄海(佐賀) および川内(鹿児島) 原子力発電所の「安全性」の総点検と情報公開を！

東日本大震災での東京電力福島第一原子力発電所の大事故は、住民の避難、農畜産・漁業の出荷・操業停止、東京、千葉、茨城での水道水の乳児への摂取制限等々、広範囲の住民への重大な被害を及ぼし、国内外に深刻な衝撃を与えています。

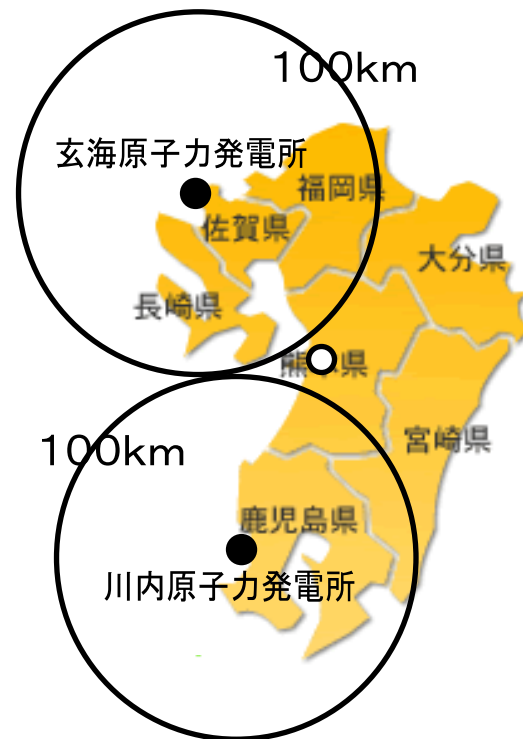
こうした中で、九州電力の玄海原子力発電所（佐賀県）、川内原子力発電所（鹿児島県）は、熊本市から距離にして100キロ余に位置しています。

こうした中で、共産党市議団は、4月18日、松岡とおる県議とともに九州電力に対して、これらの原発の安全性の総点検とプルサーマル中止を求める申し入れを行いました。

福島原発事故は『想定内』 地震や津波 国会で議論済み

「昨年5月26日の衆院経済産業委員会。吉井英勝議員（共産）が大規模地震などで電源が失われた場合、どういう事態を想定しているかと質問した」「責任逃れの『想定外』。これは許せない」

東京新聞3月24日付の記事より



ドイツではすでに始まっています

ドイツでは、すでに発電量の16%が自然エネルギーに。福島原発1号機の25基分にもあたる規模です。2050年には80%にする戦略的計画をもっています。

要請① 全ての原発の安全性の総点検の実施と、安全対策の情報公開

玄海原発の1号機は運転開始後35年が経過、川内原発1、2号機も30年が経過し、玄海および川内原発は津波による水位低下5メートルで取水できなくなる設計になっています。

電源復旧の想定時間も定められていないばかりか、海水ポンプの防

水対策もとられていないなど福島級の対策は想定されていないことも指摘されています。こうしたことから、九州電力の全ての原子力発電所の安全性の総点検を求めるとともに、どのような安全対策を取ろうとしているのかその全容を公開することを求めました。

要請② プルサーマルを中止すること

プルサーマルとは？

プルサーマルというのは、現在動いている原子炉（軽水炉）のウラン燃料の代わりにウランとプルトニウムの混合酸化物（MOX）を使うことをいいます。プルトニウムは、原発で使用した核燃料の再処理によりとり出されるものです。もともとプルトニウム自体、ウランの一万倍から一億倍とい

われる放射能をもっています。さらに、プルトニウム利用の主流である高速増殖炉である「もんじゅ」のナトリウム漏れ・火災事故、東海再処理工場の火災・爆発事故に見られるように、この方式をすすめる過程の一つ一つに技術的に未解決な問題が多いなども指摘されています。

要請③ 原発依存から自然エネルギーへの転換を！

原発の「安全神話」から決別するとともに、エネルギー政策の柱を原発依存から、太陽光・熱、水力、地熱、波力、バイオマスなど再生可能な自然エネルギーへ転換を図ることを要請しました。

また、建設が計画されている川内3号機原発計画の中止も求めました。